

関西広域地方計画の策定に係る市町村計画提案

●提出結果(提案受付期間:令和7年10月24日~11月25日)

提出市町村数 : 7

提案数 : 13

●主な提案内容

- ・ネットワーク強化による地域の活性化(甲賀市、東近江市、和歌山市) 4
- ・地方部での投資、人材を呼び込むための環境整備(小野市) 1
- ・流域治水プロジェクト 2.0 による治水能力の向上(和歌山市) 1
- ・広域観光、広域周遊に関する取組推進(和歌山市) 1
- ・けいはんな学研都市における未整備クラスターの早期整備(生駒市) 1
- ・けいはんな学研都市の取組に関する記載(精華町) 1
- ・鉄道ネットワークにおける課題認識の明記(精華町) 1
- ・日本遺産ストーリーの発信と活用(広川町) 1
- ・再エネ設備の更新を推進(広川町) 1
- ・地方交通の取組推進(広川町) 1

関西広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案)における関連箇所		提案理由	関西広域地方計画計画原案(該当箇所)等
				ページNo.	関連箇所		
滋賀県	甲賀市	1	日本海と太平洋を繋ぐ南北軸の形成に関する取組を重点的に推進すること	27	「国土軸ネットワークプロジェクト」の(3)シームレスな拠点連結型国土を支える全国的な総合交通体系の構築(交通・物流ネットワークの強靱化)に関する事項	甲賀市においては、名神高速道路八日市IC付近から三重県の名阪国道上柘植IC付近を繋ぐ名神名阪連絡道路の整備を、滋賀県6市町と三重県伊賀市・名張市さらには両県と共に推進しており、本道路の整備によりシームレスな拠点連結型国土の構築を促し、強靱で持続可能な物流ネットワーク構築する道路として定時制・速達性の確保に寄与し、地域の更なる産業集積も期待される。 ※なお、本道路は全線が重要物流道路の指定を受けており、概要版の2050年の関西(将来像)イメージにも調査中の高規格道路として図示されている。	名神名阪連絡道路については、第3部第1章(3)に主旨を追記する。また、第3部第2章(1)にすでに主旨は反映済み。
兵庫県	小野市	1	沿岸部だけではなく、地方部においても、充実した高速道路網等のインフラを活用した投資や多様な人材を呼び込む環境整備を進めること。	32	(3)海外からの投資や多様な人材を呼び込む環境整備	計画案では、内陸部は中山間地域や農村部として関係人口の拡大や二地域居住などにより活性化を図るとされているが、高速道路網の充実や南海トラフ地震による被害が相対的に小さいことなど、企業立地のポテンシャルを有しており、その推進を図ることを明記してほしい。	地方部における環境整備については、第3部第3章(3)(3-3-6)として追記する。
和歌山県	和歌山市	1	サービスレベル達成型を目指し、関西における主要都市間などを連結する高規格道路と、これを補完し広域的な交流・連携を強化する広域道路網を合わせたシームレスなサービスレベルが確保された高規格道路ネットワークの構築を図る。特に、和歌山環状北道路及び和歌山環状道路など現在調査中となっている高規格道路の早期事業着手を図る。	28	「関西交通ネットワークプロジェクト」の関西におけるシームレスな総合交通体系の構築に関する事項	関西大環状道路である京奈和自動車道と第二阪和国道を接続する和歌山環状北道路、国際拠点港湾和歌山下津港にアクセスする和歌山環状道路を整備することで、関西国際空港や大阪ベイエリアと関西各都市が連絡し、新たな道路交通ネットワークが構築され、関西南部地域のみならず、広域的に物流・産業の活性化及び国際競争力の強化や地方創生が図られる。	和歌山環状北道路及び和歌山環状道路など現在調査中の高規格道路については、第3部第1章(3)に主旨を追記する。また、第3部第2章(1)にすでに主旨は反映済み。

関西広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案)における関連箇所		提案理由	関西広域地方計画計画原案(該当箇所)等
				ページNo.	関連箇所		
和歌山県	和歌山市	2	国民の安全・安心を確保するため、関連法制などに基づき、新宮川系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、由良川水系等で「流域治水プロジェクト2.0」により治水能力の向上に取り組んでいるように、国・府県・市町村・地域の企業・住民等、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」を推進する。 これにより、気候変動などによる将来の自然災害リスクに適応したハード・ソフト一体の総合的な防災・減災対策を進める。	41	「関西強靱化・防災連携プロジェクト」の洪水・内水・高潮・土砂災害対策に関する事項	和歌山市は、一級河川紀の川の流域内人口の約半数が集中しており、沿川には当市の社会、経済、文化の基盤が集積している。近年の気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の増加により、多くの浸水被害が発生していることから、「紀の川水系流域治水プロジェクト2.0」に基づき、紀の川水系の治水能力の向上を図ることにより、住民の安心・安全な暮らしを確保する。	流域治水プロジェクトについては、第3部第6章(1)に主旨を追記する。
和歌山県	和歌山市	3	京都などの観光地におけるオーバーツーリズムの未然防止・抑制、旅行の質の向上を図るため、人流や車両の移動などに関するビッグデータを分析し、ハード・ソフト両面において、地域と連携した取組を進める。具体的には、公共交通利用の分散化、手荷物対策、ごみ対策、マナー啓発等を地域の関係者の協議などに基づき実施するとともに、関西全域を周遊させる広域観光ルートの形成や、広域周遊を促進するための交通ネットワーク・情報発信等の面的連携を進める。	58	「第9章 人々を魅了する関西プロジェクト」の(8)持続可能な観光地づくりに関する事項	一部観光地におけるインバウンドのオーバーツーリズムが課題になっているが、関西全域には豊かな観光資源が広く分布しており、十分に活用されていない。 このため、インバウンドを関西全域に周遊させる仕組みを構築することで、オーバーツーリズムの緩和とともに、関西全体での観光消費額の拡大および地域活性化が期待される。 また、本市においては高野山など県内世界遺産のゲートウェイ都市と位置づけられるよう取組を進めている。関空から和歌山市、和歌山市から高野山等への直通アクセスを改善することにより観光客の利便性が向上し誘客効果が高まることが期待される。	広域観光・広域周遊については第3部第9章(9)に主旨を追記する。
奈良県	生駒市	1	イノベーション東西軸の終着点である、けいはんな学研都市における未整備クラスターの早期整備を図る。	32	「関西成長エンジンプロジェクト」の(2)GX・DXをはじめとする産業の国際競争力の強化とイノベーションを支える環境整備、科学技術を支える基盤の強化と人材育成に関する事項	けいはんな学研都市の大規模未整備クラスターである学研高山地区第2工区では、同工区に立地する奈良先端科学技術大学院大学との連携により、学術研究都市として、多様な文化・学術・産学官民によるオープンイノベーションを創出するまちづくりを進めている。 未整備クラスターの早期整備を実現することで、けいはんな学研都市への研究開発人材を呼び込み、イノベーション東西軸の終着点の整備による国際競争力強化が期待される。	学研高山地区第2工区については、第3部第3章(2)に主旨を追記する。

関西広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案)における関連箇所		提案理由	関西広域地方計画計画原案(該当箇所)等
				ページNo.	関連箇所		
京都府	精華町	1	<p>鉄道ネットワークにおける課題認識を明記すること</p> <p>(P13、3行目末尾)</p> <p>【現行】「…未開業である。」</p> <p>↓</p> <p>【修正案】「…未開業であり、近畿圏の成長のための課題を解消するという視点からネットワーク、サービス向上に向けた改良や拡充の検討が必要である。」</p>	13	鉄道ネットワークに関する事項	<p>鉄道ネットワークについては、直近の近畿地方交通審議会(H26.7.31)において、既存の鉄道ネットワークの改良では対応が困難であり、近畿圏の成長に寄与することが具体的に明らかである場合は、鉄道ネットワークの拡充を検討すべきことが確認されているため。</p>	<p>鉄道ネットワークに関する事項については、第3部第2章(1)にすでに主旨を反映済み。</p>
京都府	精華町	2	<p>関西文化学術研究都市における取組について</p> <p>(P32、6行目)</p> <p>【現行】「…及び成果の事業化を目指している。」</p> <p>↓</p> <p>【修正案】「…並びに事業化及び産業施設・生産施設の立地を目指している。」</p>	32	関西文化学術研究都市における取組に関する事項	<p>「関西文化学術研究都市の建設に関する基本方針」(S62.9.30決定、H19.4.18変更)の「第2章都市建設における学術、産業及び行政の各分野の協力の方針」において、産業界では、「研究成果をいかす産業施設・生産施設の立地促進を図る」とされているため。</p>	<p>施設の立地促進については、第3部第3章(2)にすでに主旨を反映済み。</p>
滋賀県	東近江市	1	<p>名神名阪連絡道路の早期事業着手に関する取組を重点的に推進すること</p>	27	<p>「国土軸ネットワークプロジェクト」の「シームレスな拠点連結型国土を支える全国的な総合交通体系の構築(交通・物流ネットワークの強靱化)」に関する事項</p>	<p>滋賀、三重両県は、日本列島の中央に位置し、名神高速道路や新名神高速道路、名阪国道などの幹線道路が集中する国土の東西を結ぶ交通の要所である。</p> <p>名神名阪連絡道路は、令和5年4月に全線約30キロメートルが重要物流道路の「計画区間」に指定されており、太平洋から日本海に至る南北軸を形成し、滋賀県東近江・甲賀地域、三重県伊賀地域からなる地域集積圏の形成、魅力ある定住地域づくりを支援するとともに、東西方向の広域道路ネットワークとの連携による道路網の機能強化や広域的な交流を促進する道路として期待される。</p>	<p>名神名阪連絡道路については、第3部第1章(3)に主旨を追記する。また、第3部第2章(1)にすでに主旨は反映済み。</p>

関西広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案) における関連箇所		提案理由	関西広域地方計画計画原案 (該当箇所)等
				ページ No.	関連箇所		
滋賀県	東近江市	2	国道8号バイパス(彦根～東近江)の整備に関する取組を重点的に推進すること	27	「国土軸ネットワークプロジェクト」の「シームレスな拠点連結型国土を支える全国的な総合交通体系の構築(交通・物流ネットワークの強靱化)」に関する事項	国道8号は、国土の基幹道路として、「重要物流道路」に指定されるとともに、滋賀県の「第1次緊急輸送路」にも指定されているが、慢性的な交通渋滞が発生し、産業振興、観光振興等に多大な影響を及ぼしている。 国道8号彦根～東近江は、滋賀県の湖東地域を南北に通る名神高速道路と現国道8号の間に位置し、基幹道路のダブルネットワーク化を構築することにより、激甚化・頻発化する災害に備えるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するバイパス道路として期待される。	国道8号バイパス(彦根～東近江)については、第3部第1章(3)に主旨を追記する。また、第3部第2章(1)にすでに主旨は反映済み。
和歌山県	広川町	1	地域の歴史・伝統・文化を魅力的に伝えている各地の日本遺産ストーリーの発信を都道府県単位の広域で取り組み地方都市へ誘客することで、特定の地域へのオーバーツーリズム発生の抑制や新たなインバウンド需要を掘り起こし、個性豊かな関西観光を推進する。	25 55	第3章 個性豊かな圏域づくり 第1節 人々を魅了し続ける関西 第9章 人々を魅了する関西プロジェクト (1)個性豊かな地域文化の保存、継承、創造、活用等	近畿圏(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)には、28ストーリーの認定された日本遺産があるが、日本遺産の言及はP56の『「日本遺産である「和歌の浦」といった自然環境』のみである。日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語る「ストーリー」が認定されているものであることから、歴史・伝統・文化が集積し、多様な文化・自然の魅力がいっぱいの関西を目標にするためにも、観光コンテンツの1つに日本遺産も盛り込み、県単位での取り組みを推進することが必要だと思います。	日本遺産ストーリーの発信については、第3部第9章(1)に主旨を追記する。
和歌山県	広川町	2	省エネ率が低下し、更新を余儀なくされた旧式の再エネ設備などの更新を推進する。	49	(1)再エネの導入促進、活用拡大と分散型エネルギーシステムの構築	脱炭素に向けたエネルギー源となり得る各種エネルギーについて、新規設置だけではなく、省エネ率が低くなった古い設備の更新を蔑ろにすることなく、取り組んでいくことが必要と考えます。	再エネ設備の更新については、第3部第7章(1)に主旨を追記する。

関西広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案番号	提案内容 (計画に記載すべき文章案)	中間とりまとめ(案) における関連箇所		提案理由	関西広域地方計画計画原案 (該当箇所)等
				ページ No.	関連箇所		
和歌山県	広川町	3	都市部と地方部を結ぶ新幹線や特急等の延線及び増便に加えて、最寄り駅からの移動手段の維持、確保し、都市部と地方部の心理的距離を推進します。	57	第9章 人々を魅了する 関西プロジェクト (7) 地方誘客の促進	地方誘客の促進のためには、その場所に至るまでの交通はもちろん、最寄り駅についてからの移動手段の確保が必要です。そのため、地方交通の発展は必須事項であると考えます。	・新幹線や特急等の延線及び増便については、第3部第3章(2)にすでに主旨を反映済み。 ・最寄り駅からの移動手段については、第3部第9章(3)、第9章(8)にすでに主旨を反映済み。